



午結綜往復織ガ如ク其間毫々支拮顛路ノ憂ヲ
 生セス竟ニ支那講和ノ結局ニ至レ要スルニ汽
 船ノ切益シ鮮少ナラザルチリ尋テ大蔵省ニ下
 付セラレ及テ倉卒汽船抵ヲ設ケ三菱會社
 命シテ運用ノ事ヲ管掌セシメ八年二月三日
 以テ初テ上海定航ヲ開キ從テ國內諸港ノ運
 航ヲ通シ漸次本邦沿海ノ航推テ恢復セシメ
 謀リ經驗凡ソ一年ノ後ニ至リ詳ニ將來ノ目的
 ヲ具狀シ大ニ我國海運ノ事業ヲ振興スルノ事
 宜ヲ上奏セシトスルノ際今年七月廟議之ヲ内
 務省ニ交付スルニ決シ全十月三十日ヲ以テ悉
 ノ之ヲ取進寮ニ交付セリ今茲ニ各船ノ事項ヲ
 余陳スルニ當リ其大要ヲ一括シテ展覽ニ便ナ

ラシムルノ如シ
 七年五月九日ヨリ
 七年十二月三十日ヨリ

蕃地事務局所轄中

航海總數 五十六

文武官負兵隊夫卒送輸ノ數 壹万五千三百十名

死體 貳百七拾貳人

官物 貳万二千九百貳拾貳箇

官米 壹万五千貳拾石八斗四升七合

兵器 千六百六拾貳

金貨 五百円

銀貨 拾四万貳千円

銅貨 壹万四百貳拾五円

紙幣 貳万七千五百四拾九円

洋銀 拾貳万貳千四百七拾五円

官炭

全

千三拾貳噸九分

以上官品。此他高砂丸ノ十航社寮丸ノ一瓶一輸送ノ負員
官物ノ數分明ナラハルヲ以テ揚クハラ得ス

船客

全

千貳百七拾八名

高荷

全

貳拾万八千拾壹箇

運航費

全

金拾三万五千七百拾三円九拾五匁壹厘

現運賃

全

金八万九千八百八拾三円拾六匁九厘

見積運賃

全

金貳拾七万零貳百六拾四円拾三匁壹厘

但高砂丸ノ十航社寮丸ノ一
航ハ前条ノ算入セム

修繕費

全

金貳万六千七百三拾貳円六拾壹匁三厘

汽船掛所轄中

自八年一月一日
至十年十月三十日

洋銀貳千九百五拾七弗八拾七シト

航海惣數

全

百三十四

官米

輸送ノ數

九万五千貳百拾壹石八斗四升七合六分

紙幣

全

九百万円

廢札

全

八拾七箇

郵便物

全

貳百拾三

大砲

全

貳門

車臺

全

貳組

官物

全

三百五十三

官炭

全

貳千貳百五拾七噸三分九厘

以上官品

船客

全

貳万六千八百七拾六人

高荷

全

百三拾四万八千七百四拾六

運航費

全

金五拾万貳千八拾八円七拾六匁三厘

現運賃

全

金貳拾六万貳百六拾六円貳匁六厘

洋銀九万三千六百九拾貳弗九拾九シト

見積運賃

金貳拾万五千貳百四拾五円五拾八匁三厘

洋銀四拾七弗四拾セント

修繕費

金拾貳万六拾貳円九拾匁貳厘

洋銀貳千九百拾五弗八拾六セント

此他蕃地事務局所轄中陸費金壹万五千五百
四拾九円五拾六匁三厘洋銀拾九弗六拾七
セント汽船掛所轄中陸費金八万六千八百
壹円三拾六匁洋銀七百貳拾壹弗六拾四匁
セント臨時費金壹万二千九拾七円三拾六匁
九厘洋銀三千九百拾弗三拾八セント有リ
而シテ陸費トハ三菱商会諸調度物件買収
代價及々全社雇ハ内外国人月給旅費各所
庫敷料又ハ庫船浮標買収代價ノ類ニレテ

臨時費トハ運賃割戻シ及ヒ内外国人臨時

給料旅費ノ類總テ臨時支給スル所ノ金額

ナリ

社ノコトセシト答辭甚曖昧ナルヲ以テ暫ク其談
判ヲ止ム是時參議大久保利通長崎ニ來ル依テ
蕃地事務局長官大隈重信協議シテ別ニ外國船
購入ノ議ヲ決ス偶々該船上海ヨリ入港ス即チ
船主在長崎ヨリブル商社ニ談判シ五月九日購買
シ社寮九ト改稱シ國旗ヲ掲ケ正院ニ上奏ス
五月十五日長崎港ニ於テ試運轉ヲナシ誤テ英
帆前船ヨリトトルツト号ニ衝突ス彼ノ船長五千
弗ノ價金ヲ要ス其額過多ナルヲ以テ蕃地事務
支局長ヨリ屢々減額ノ談判ヲ遂ケシム彼肯セ
ス遂ニ狀ヲ具シテ長崎裁判所ノ公裁ヲ請ヘリ
然ルト雖氏彼ノ需ムル所固ヨリ不當ナルヲ以
テ到底内濟和訟相整ニ洋銀貳千七百五拾弗

ヲ支給シテ完了シ彼其願各々願ヒ下クタリ
翌十六日台灣一發艫ス其歸崎ニ以テ直ニ長崎
トシテ入リ新汽鐘交換及各項ノ修理ヲナ
サシム其成ルヲ告ルニ依リ十二月五日ヲ以テ
蕃地事務局支局ヨリ三菱商社ニ交付ス然レニ全
社雇米人ノ入レヒシ船體ヲ検査シテ修繕未ク完
成セスト報ス依テ又更ニ入渠レ八年三月ニ至
テ完全レ十九日長崎ヲ發シ熊本博多ヲ經テ東
京ニ回航ス
尋テ廣島縣積米運搬ノ為メ開往レ五月三十日
廣島港ヲ出帆シ今日午後二時過シキ島ノ南一
里四分ノ三ヨリ東半里程ノ海底ニ暗礁
ニ衝突シタリ船長回リシヤホトシハ航海術熟

練ノ者ナレバ廣島近海ハ曾テ知ラサル所且測
量未済ノ峽中ナルヲ以テ注意シテ水先ヲ雇入
シタリ然レニ此失策アルハ蓋シ水先ノ誤リナ
リ

蕃地事務局所轄中台灣一航スルヲ一回此一
蕃地事務局支局ニ指テ掌管シテ多シ然レバ其
ル所ハ兵隊武器糧米等類ハ詳細ナラズ軍務
シハ際ニ能ハス故テ暫ク之ヲ詳明ナラズ
汽船掛所轄中熊本博多ヲ經テ東京ニ航スル
一回東京ヨリ神戸間ヲ往復スルヲ五回廣島
航スルヲ一回神戸下ノ関博多ヲ歷航スルヲ一
回佐渡一往クハ一回乗客七百八拾七名荷物四
万貳千貳百九拾三官米壹万三千五百拾九石六
斗七升四合郵便物拾八箇ヲ運搬セリ而シテ此

運航費金壹万八千九百三拾三圓八拾貳匁九厘
現運賃ヲ收入スルテ金壹万七百五拾九圓七匁見
積リ運賃金三万五百貳圓七拾貳匁四厘修繕ヲ
為スルニ七回此入費金三万千貳百四拾八圓五拾
九匁三厘ナリ
十月三日 馭遊寮 一 交代ス

台湾ヨリ上海へ開往スルニ當リ九月七日夜吳
 淞ニ於テ誤テ英船ウリストル号ト衝突ス其船
 長償金ヲ請フ在上海日本領事品川忠道措辦シ
 支那金貳千六百八拾八兩貳拾九分ニ付テ
 支給ス
 七年六月台湾ヨリ初ラ帰航スルヤ蕃地ノ予捕
 品若干ヲ裝載シ其再渡ニ際シテハ勅使北條侍
 從等ヲ乘セ十月ノ帰崎ニ當テハ琉球人ノ鬪騷
 四十回頭ヲ運搬シ今月又勅使片岡侍從等ヲ蕃
 地へ送レリ後十二月ニ至リ事務都督西郷從
 道以下全軍ヲ台湾ヨリ凱旋スルヤ亦該船ニ駕
 レテ帰崎セリ
 八年二月該船ヲ以テ上海郵船ニ充ツ

蕃地事務局所轄中台湾一航ニ歸ルニ六回台湾及上
 海一航スルニ一回長崎ヨリ熊本一往久下二回
 小倉一航スルニ一回此局ニ於テ長崎蕃地事務支
 其裝載スル所ノ文武官兵隊夫卒武器糧米等
 万ヲ以テ數フヘシ然レ兵隊勿々ノ際ニ付テ
 以テハ其故ニ暫ク之ヲ關スル東京ヨリ神戸へ
 往復スルニ一回乗客六百八拾名荷物九百七拾
 七兩シテ此運航費金千九百七拾五兩三拾五
 五厘現運賃ヲ收入スルニ金千百拾四兩貳拾五
 見積リ運賃金三百四拾三兩ナリ
 汽船掛所轄中神戸一往復スルニ一回上海一航
 六拾七兩九回乗客五千貳拾九名荷物拾五萬五千
 六拾七兩二門車壹貳組紙幣貳百五拾萬兩官
 物六拾三箇廢札拾四箇ヲ裝載シ郵便物四拾九

以テ乘坐シ即日横濱、後錨長崎ニ於テ更ニ兵卒
ヲ乗セ夫ヨリ台湾ニ至ル尋テ歸崎又台湾ニ駛
往ス并時蕃地ニ送還スル所ノ少女ヲ乗セタリ
十二月蕃地ヨリ勅使及文武官員彈藥雜件等ヲ
裝載シテ歸朝セリ
八年一月ヨリ九月エテ東京神戸ノ間ヲ往復セ
リ
蕃地事務局所轄中東京神戸ノ間ヲ往復スル
一回東京ヨリ神戸長崎小倉熊本一歷航スル
一回台湾ニ開往スル
二回勅使官員兵隊夫卒
等ヲ乗スル
一千八百貳拾九名台湾少女一人糧
米ヲ運搬スル
五百俵彈藥武器ヲ裝載スル
一千五百箇積荷五万五千六百六拾箇銀貨ヲ積ム
ハ

壹万圓而シテ此運航費金三万八百貳拾五圓三
弍貳厘運賃金貳万一千七百七拾三圓四拾弍厘見
積リ運賃金貳万四千八百五拾七圓八拾弍修繕
ヲナス
一回此入費金貳千三百六拾六圓九拾
九弍三厘洋銀貳千九百五拾七弗八拾セントナ
リ
汽船掛河轄中東京神戸間ヲ往返スル
十四回
乗客貳千六百六拾五名荷物拾壹万三千九百六拾
七箇郵便物貳拾貳箇ヲ裝載セリ而シテ此運航
費金三万三千九拾四圓五拾八弍五厘運賃金三万
百五拾六圓八拾五弍三厘洋銀八弗見積リ運賃
金拾六圓六拾五弍修繕ヲ加ル
八回此入費金
五千三百壹圓拾八弍厘洋銀千貳百八拾九弗三

拾六セシトナリ
十月二日 駈進察へ交付ス

東京丸

噸數

貳千貳百拾七

馬力

三百

ノット

拾四

機関

外車

原價

洋銀貳拾五万弗

原名ヨウヨルク一千八百六十四年米國新約克
府ニ於テ現今第一ノ造船家マンモントニテ
ビルトノ製造スル所ナリ曾テ米國太平洋海郵船
會社ノ所有ニシテ久シク横濱神戸長崎ヨリ上
海へノ航線ヲ往復セルヲ以テ我國ニ於テ頗ル
著名ノ汽船ナリ明治七年四月台灣蕃地ニ事
ルニ際シ全社ノエゼン止ト談判ヲ遂ケ該船ヲ

曖昧ナルヲ以テ暫ク其談判ヲ止ム八月ニ至リ
買収ノ談判相整ヒ英人ガクワンクシテ船體ヲ誓
査セシメ全月八日横濱ニ於テ買収シ東京丸ト
改称シ國旗ヲ掲ケ正院ニ上奏ス
十一月兵負糧食ヲ裝載シ長崎ヨリ台湾一行キ
龜山風港ヲ經テ博多ニ歸リ十二月福岡小倉ヲ
經テ長崎ニ至ル此時支那政府トノ紛議訂了シ
シ征召ノ全軍長崎ニ凱旋スルニ遇フ即チ事務
都督西郷従道以下ノ將卒ヲ載セテ歸京セリ
上海ハノ郵船ヲ創設スルニ當リ八年二月三日
本船ヲ以テ物ヲ横濱ヨリ神戸下ノ関長崎ヲ經
テ上海ニ航行セシメ引續キ往復セシム
蕃地事務局所轄中東京ヨリ神戸ニ往復スル

四回博多ニ一回航スル
一回台湾ニ一回航スル
一回文武官及兵隊夫卒等ヲ乗スル
一回金貨五百圓銀貨拾三萬
貳拾壹名貨幣ヲ積ム
一回金貨五百圓銀貨拾三萬
貳千圓銅貨壹萬四百貳拾五圓紙幣貳萬七千五
百四拾九圓洋銀拾貳萬貳千四百七拾五弗荷物
ヲ積ム
一回七萬四千三百三拾四箇而シテ此運航
費金三萬四千四百六拾八圓拾壹匁貳厘運賃金
貳萬四千三百拾九圓四拾壹匁六厘見積リ運賃
金七萬千三百貳拾八圓九拾九匁壹厘修繕ヲナ
ス
一回此費金三百八拾九圓五拾五匁十リ
汽船概シテ所轄中神戸ニ一回航スル
一回上海ニ一回航スル
一回乗客六千貳拾貳名積荷拾七萬八千
五百七拾七箇紙幣ヲ積ム
一回貳百七拾五圓廢

札五拾一箇ナリ而シテ此運航費金六万七千九
 百六拾五圓五拾九匁四厘運賃金貳万四千九百
 四拾貳圓貳拾三匁九厘洋銀貳万八千三百拾貳
 弗九拾六セント見積リ運賃金千貳百五拾圓洋
 銀拾壹弗五セント上修繕ヲ加ルテ十四回此入費
 金五千三百拾貳圓五拾七匁九厘ナリ
 十月四日取遊察ニ交付ス

金川丸

噸数 七百貳拾三
 馬力 百七拾五
 ノツト 拾
 機関 螺旋
 原價 洋銀九万弗
 原名 トラビ千八百三十五年ノ製造ニシテ明
 治七年八月九日横濱港ニ於テ英國半島並東洋
 郵船會社ヨリ買収シ金川丸ト改称ス
 今日午後第六時港内碇泊ノ和蘭國倉船正三ノ
 上号一衝突ス彼船主横濱在駐全國代辦領事正
 ハタムスノ手ヲ經テ神奈川縣令中島信行一
 照会シ其損害ヲ償ハシテテ請フ依テ三菱商社

命レ洋銀三百七拾弗ヲ支給セシム
全日横濱拔、錨長崎ニ至リ、兵員ヲ裝載シテ、台灣
島龜山ニ行キ、鷄籠ヲ經テ、長崎ニ歸ル。十月十四
日又長崎ヲ發シテ、渡蕃、厦門、天津、芝罘ヲ歴航
シテ、歸崎ス。此時、譯理大臣、大久保利通支那ヨリ
歸朝ス。即テ大臣及隨員ヲ載セテ、歸航シ、十一月
廿六日、横濱ニ安抵セリ。
八年二月、該船ヲ以テ、上海郵船ニ充ツ。
蕃地事務局所轄、中長崎ニ駛往スル、十二回、台灣
ニ往ク。一、三回、文武官員及兵隊、醫師、馬真師夫、卒
患者等ヲ乘スル。一、六千四百八名、兵器百六箇、酒
二十五樽、石炭三百九十六噸、荷物壹万伍百壹箇
ヲ裝載セリ。而シテ、此運航費金貳万貳千六百九

拾壹円九拾貳厘運賃、七百八拾壹円七拾三
三厘見積リ、運賃金八万七千七百五拾壹円七拾九
五厘、修繕ヲ為ス。一、三回、此入費金貳万六拾三
七、貳厘、四厘ナリ。
汽船、掛所轄、中上海ニ航行スル。一、八回、乗客三千
貳百九拾六名、荷物拾壹万四千四百六箇、紙幣貳百
貳拾万、円官物三拾四箇、郵便物十四箇ヲ積メリ。
而シテ、此運航費金五万九千六百九拾四、六拾九
貳厘、運賃金壹万二千六百貳拾四、九厘、
洋銀壹万四千八百九弗三拾七、セシト見積リ、運
賃金千五百壹円三拾七、貳洋銀五弗拾、セシト、修
繕ヲ加ル。一、十回、此入費金壹万三千八百貳拾八
円四、貳厘ナリ。

十月四日 馭遊寮へ交付ス

[Faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page]

品川丸

噸數

馬力

機関

原價

螺旋

原名ヨヤトルアルヘル一千八百七拾二年英國

ノ製造ニ係ラ佛國某社ニ属セ

リ明治七年十月十一日横濱商カラトルホ

ルヲ經由シテ購買直ニ國旗引換更・品川丸ト

改称セ

台湾蕃地ノ事漸ク切迫ナルニ及ニ事務局所属

ノ諸汽船未タ能ク漕輸ノ用ヲ全フスル能ハサ

六
九

ルヲ以テ八月廿日ヲ以テ尚二隻ノ大汽船ヲ添
ヘン一ヲ申請シ尔後十月十五日に至リ更ニ上甲
レテ大汽船二隻ノ價ヲ以テ中汽船四隻ヲ購買
セハ往復頻繁ノ際自ラ其便ヲ得ン一ヲ陳述シ
尋テ恰好ノ汽船四隻ヲ買収セリ該船ハ即テ其
一ナリ
蕃地事務局所轄中坂神ヲ經テ長崎ニ航スル一
一回輸漕スル所ノ官品洋鐵三百五拾噸官米六
千零拾貳石四斗四升七合官炭六百三拾六噸九
斗官用夫卒四拾四人商荷壹万二千零拾四個船客
貳拾六人現運賃金三千六百貳拾九円貳拾壹匁
三厘見積運賃金壹万二千貳百貳拾七円拾壹匁三
厘運航經費金六千七百七拾六円零八匁八厘

汽船掛所轄中坂神長崎航一回四日市航三回坂
神尾ノ道航一回三原廣島航一回函館酒田航一
回函館富山航一回和歌山航一回坂神航三回郵
便物ヲ運搬スル一袋十四個並ニ九百目輸漕
スル所ノ官炭千貳百三拾三噸貳分七厘官米四
万六千九百零三石四斗三升四合船賃貳万九千
百六拾個船客三百七拾四人收入スル所ノ現運
賃金九千九百六拾八円三拾四匁九厘洋銀百六
拾六弗見積運賃金八万九百壹円七拾貳匁運航
經費三万五千三百三拾壹円貳拾九匁四厘修繕
ニ加ル一八度此經費金壹万六千六百六拾三円四
拾六匁七厘
八年十月十五日 馭 逋 察 三 交付ス

九州九州
噸數
馬力
ノット
機閘
原價
原名
製造
支那
那葛藤
洋銀
リ然
以テ
買収
セン
下命
レ
竟
今年
十月
三十一

九州九州
噸數
馬力
ノット
機閘
原價
原名
製造
支那
那葛藤
洋銀
リ然
以テ
買収
セン
下命
レ
竟
今年
十月
三十一

九州九州
噸數
馬力
ノット
機閘
原價
原名
製造
支那
那葛藤
洋銀
リ然
以テ
買収
セン
下命
レ
竟
今年
十月
三十一

九州九州
噸數
馬力
ノット
機閘
原價
原名
製造
支那
那葛藤
洋銀
リ然
以テ
買収
セン
下命
レ
竟
今年
十月
三十一

九州九州
噸數
馬力
ノット
機閘
原價
原名
製造
支那
那葛藤
洋銀
リ然
以テ
買収
セン
下命
レ
竟
今年
十月
三十一

九州九州
噸數
馬力
ノット
機閘
原價
原名
製造
支那
那葛藤
洋銀
リ然
以テ
買収
セン
下命
レ
竟
今年
十月
三十一

九州九州
噸數
馬力
ノット
機閘
原價
原名
製造
支那
那葛藤
洋銀
リ然
以テ
買収
セン
下命
レ
竟
今年
十月
三十一

九州九州
噸數
馬力
ノット
機閘
原價
原名
製造
支那
那葛藤
洋銀
リ然
以テ
買収
セン
下命
レ
竟
今年
十月
三十一

九州九州
噸數
馬力
ノット
機閘
原價
原名
製造
支那
那葛藤
洋銀
リ然
以テ
買収
セン
下命
レ
竟
今年
十月
三十一

九州九州
噸數
馬力
ノット
機閘
原價
原名
製造
支那
那葛藤
洋銀
リ然
以テ
買収
セン
下命
レ
竟
今年
十月
三十一

九州九州
噸數
馬力
ノット
機閘
原價
原名
製造
支那
那葛藤
洋銀
リ然
以テ
買収
セン
下命
レ
竟
今年
十月
三十一

九州九州
噸數
馬力
ノット
機閘
原價
原名
製造
支那
那葛藤
洋銀
リ然
以テ
買収
セン
下命
レ
竟
今年
十月
三十一

日横濱ニ於テ之ヲ購買シ國旗ヲ交換シ更ニ名
 テ九州九ノ云フ
 陸軍省ノ依頼ヲ以テ北海諸縣散在ノ兵器積取
 ノ為今年十二月五日品海發航敦賀石川新瀉秋
 田函館宮城磐前ノ諸海港ヲ歴航シ兵器惣數志
 万々拾五個ヲ裝載シ八年二月廿二日帰航セリ
 蓋シ嚴冬風浪ノ烈ナル北海諸港運航隔絶ノ際
 該船勇進敢航多少ノ艱苦ヲ凌キ官物積取ノ傍
 高荷送輸ノ便ヲ共ヘタルヲ以テ大ニ北海諸港
 ノ人望ヲ得タルト云フ
 蕃地事務局所轄中大坂神戸ニ航スル一四北
 海諸港ニ航スル一四輸漕スル所ノ船賃一万
 九千六百八拾九個ニ屬スル五拾五個ノ官
 運物

賃交付ノ船賃ト云フ
 通常ノ船賃ト云フ
 船客五拾八員收入スル所ノ
 運賃金貳万貳千八百七拾九円五拾七匁四厘見
 積運賃金三万四千四百円運航經費金壹万五千五百
 八拾八円七拾六匁壹厘修繕費用金貳千貳百貳
 拾四円拾四匁貳厘
 汽船掛所轄中青森函館航一回寒風込函館航貳
 回函館秋田航一回石ノ巻函館航二回坂神航貳
 回郵便物運搬ノ數五個官米輸送ノ高四千八百
 九石九斗貳升三合官炭八拾九万零六百斤裝載
 スル所ノ船賃五万三千三百九拾六圓乘客七百
 四拾五人現運賃收入ノ高金壹万七千八百八拾四
 圓貳拾洋銀千九百九拾六兩三拾九匁ト見積運賃
 金八千零五拾貳圓拾五匁運航經費金貳万六千七

百五拾六円三拾壹。又四厘修繕ヲ加ル。八度此
經費金貳千八百四拾貳円八拾五。又八厘
八年十月四日。駁通察ニ交付ス。

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

瓊浦丸

噸數

馬力

ノット

機関

原價

拾壹万七千弗

螺旋

九

百拾

五百五拾八

原名ヨリエシ。千八百七十四年英國ニ於テ製造明
治七年十月十六日横濱ニ於テ蓬萊社ヲ經由シ
テ購買シ。即日國旗引換更ニ瓊浦丸ト稱ス。
七年十月廿三日糧米裝載並ニ片岡侍從伊藤權
大侍運來込ニ長崎ニ航シ。全港ヨリ台湾ニ至リ
全月廿九日兵隊及ニ荷物等ヲ滿載シテ長崎ニ
歸リ。十二月二日再ニ台湾ニ航シ。長崎ヲ經テ全

月廿四日品川へ帰着ス
横濱高司ヲ一ルレホリルノ依頼ヲ以テ魯國軍
艦用ノ為メ長崎石炭ヲ装載シ魯領口トロボロ
スク港ニ至ルヘキヲ約シ八年四月十九日發航
長崎ニ至リ石炭積入五月六日全港ヲ發シ直ニ
口トロボロスクニ航シ歸路函館ヲ經テ六月廿
日帰着セリ此行ヤ開拓使官負兩名口トロボロ
スク港巡視シテ全行
蕃地事務局所轄中長崎航スル一廻台灣ニ航
スル一廻坂神ニ航スル一廻輪漕スル所ノ
官米千五百石官荷壹万貳千八百拾壹個金貨貳函
兵隊千貳百零八人死體百拾六負兵器五拾六個
高荷壹万七千八百四十個船客十三人收入スル

所ノ現運賃金千七百八拾貳円四拾貳匁見積運
賃金壹万九千八百三拾壹円拾五匁運航經費金
九千六百四拾八円貳拾貳匁
汽船掛所轄中坂神航七回石ノ巻函館航一回石
ノ巻航一回口トロボロスクニ航一回函館船川航
一回郵便物運搬ノ数十四個輸漕官米三千九百
七拾七石貳斗零貳合高荷拾貳万九千六百六拾三
個船客五百六十三人收入スル所ノ現運賃金三
万九千百貳拾貳円四拾九匁七厘洋銀千貳百五
拾壹匁五拾壹匁ト見積運賃金壹万八千五百
拾九円三拾八匁運航經費金貳万七千七百四拾
七円零五匁九厘修繕ヲ加ル一七度此經費金千
五百三拾貳円拾七匁八厘

八年十月十日 馭遊寮ニ交付ス

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

豊島丸

噸数

五百九拾七

馬力

百五拾

ノット

九

機関

螺旋

原價

拾壹万六千八百円

原名「シタ」千八百七十四年英國製造ニ係リ
全國高司「シタ」ノ所有タリ明治七年十月十九
日横濱ニ於テ先收会社ヲ經由テ購買シ直ニ
國旗变换更ニ豊島丸ト改称ス
七年十月廿七日品海解纜糧米ヲ裝載シテ長崎
ニ航セリ全所ニ於テ川北俊弼采込呂宋行スヘ
キニ決シ十一月廿日名灣寄港ノ際蕃地ノ兵既

二引奉ノ時ニ當リ運漕船入用ナルヲ以テ先ツ
厦門ニ航シ是地ニ於テ河北上陸再々台湾ニ歸
兵隊運漕ニ從事シ十二月二十二日歸着セリ
蕃地事務局所轄中長崎肥後福岡航一回台湾厦
門航一回台湾航一回坂神航一回輸送官荷三千
八百六拾四個官米七千。貳拾壹俵兵負貳百九拾
九人死體百五拾六負高荷八千八百零四個船客
四百六拾七人收入スル所ノ現運賃金貳千七百
五拾貳円八拾壹匁六厘見積運賃金壹万六千零
貳拾四円貳拾八匁貳厘運航經費金壹万零貳百
九拾三円貳拾四匁六厘修繕費用金千百九拾六
円
汽船掛所轄中坂神航四回長崎博多航二回青森

函館航一回寒風汎函館航一回寒風汎函館新瀉
航一回函館酒田航一回和歌山四日市航一回郵
便物運搬ノ數九個官米輸漕ノ高壹万零八百八
拾七石八斗四升零五匁六才官炭四百九拾四噸
高荷六万九千九百貳拾八個船客八百四拾二人
收入スル所ノ現運賃金貳万三千七百七拾貳円
四匁六厘洋銀百四拾三弗見積運賃金貳万五千
貳百三拾七円九拾三匁五厘運航經費金貳万七千
三百八拾六円八拾壹匁六厘修繕ヲ加ルテ四度
此經費金四千五百四拾四円貳拾貳匁四厘洋銀
八百三拾九弗
八年十月八日 馭遊寮ニ交付ス

Handwritten text in vertical columns, likely a ledger or record book. The text is very faint and difficult to read, but appears to contain numerical entries and descriptive notes.

新馮丸

噸數 五百拾貳

馬力 三百

九

機関

原價

洋銀拾万弗

原名「パール」千八百五十五年英國ホルケン

社ヨリ買収スル所ナリ

年十一月開拓使ニ於テ英國半島並東洋郵船会

社ヨリ買収スル所ナリ

處蕃事件ノ為メ支那政府ト葛藤ヲ生スルニ當

リ開拓長官黒田清隆工奏レテ開拓使ノ定額金

ヲ節減シ羸ス所ノ金拾万圓ヲ還納シ以テ軍資

ニ供セシト請フ九月四日制可ス後テ該金ヲ工
納スルニ際シ偶々全使ニ於テ該船ヲ購入ス依
テ協議シテ拾万圓ノ金ニ換ルニ該船ヲ以テ為
シト請フ乃チ上奏シテ其請ニ應レ十一月十二
日横濱ニ於テ領收シ新鴻丸ト改稱セリ
支那政府ノ償金四拾万兩領收ノ為メ租稅寮十
等出仕平野祐之大蔵省十三等出仕横尾金一ヲ
シテ上海ハ派遣セレハ十二月十六日該船ニ駕
シテ横濱ヲ出發シ神戸長崎ヲ經テ上海ニ達シ
有故其証券八年一月廿八日東京ニ安抵ス
爾後上海郵船ニ充
蕃地事務局所轄中上海一航スルハ一回乗客三
拾四人積荷九千六百九拾貳此運航費金八千四

拾七圓貳拾三匁五厘運賃金三千五百五拾圓三
拾九匁六厘見積リ運賃金壹万八千五百圓修繕
ヲナスハ一回此費金四百九拾貳圓八拾五匁四
厘ナリ
汽船據リ所轄中上海一往返スルハ九回乗客四
千貳百拾名貨物ヲ裝載スルハ拾貳万三千八百
四拾三箇官物ヲ積ムハ八拾三箇紙幣百五拾五
万圓廢札貳拾貳箇而シテ此運航費金六万五千七
百七拾五圓拾五匁六厘運賃金壹万貳千九百圓
拾三匁四厘洋銀貳万五千貳百拾七弗四拾七
見積リ運賃金七圓拾七匁洋銀拾壹弗九拾五
セント修理ヲ為スハ拾四圓此入費金壹万四千
百四拾貳圓六拾貳匁七厘ナリ

十月十二日 駆通察入 交付ス

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

敦賀丸

噸數

五百

馬力

九

ノット

機関

螺旋

原價

洋銀拾壹万弗

原名ロソシ千八百六十四年英國グラスゴロニ
於て造營スル所ニシテ在横濱米國高社オルス
ホト此ノ所有タリ明治七年九月其賣却セント
欲スルヲ聞キ三菱高社雇米人カレビスラシテ
船體ヲ検査セシム報シテ云ク汽鐘器械頗ル損
傷セリ故ニ新ナルモノヲ以テ之ヲ交換シ而シ
テ其船室ノ模様替テナカハ至便ノ良艦ナラン

ト乃チオルスホーレニ談判シテ其修理一切ヲ
 擔當シニケ月間ニ完成セシメ船價及修繕費ト
 合シテ洋銀拾壹万弗ヲ以テ購入スヘキコトヲ
 約定シ九月十四日及十九日條約各ヲ裁シテ之
 ヲ保証セシメ全月廿六日條約代價ノ内六万五
 千弗ヲ交付ス尋テ長崎ニ航行シ全所ノトツク
 三於テ約ノ如ク各項ノ修理ヲナシ八年三月ニ
 至テ完成ス乃チ全月廿六日ヲ以テ之ヲ領收シ
 條約代價ノ全額ヲ支給セリ於是名ヲ敦賀丸ト
 改メ國旗ヲ掲ク
 尔後東京神戸ノ間ヲ往返セリ
 汽船掛所轄中神戸福岡ヲ經テ長崎ニ航スル
 一回東京神戸間ヲ往復スルニ十二回寒風沢函

館小樽内ヲ歴航スルニ一回乗客千四百九拾貳
 名荷物拾万千九百四拾一箇官米ヲ積ムト志万
 千拾六俵七斗六升六合五夕官物ヲ積ムト百七
 拾三箇郵便物ヲ運搬スルニ五拾箇而シテ此運
 航費金貳万八千貳百拾貳円三拾六匁六厘運賃
 金貳万七千百三拾八円四拾貳匁三厘洋銀十五
 百九拾六弗三拾三セシト見積リ運賃金七千六
 拾七円七拾七匁四厘修理ヲ為スニ十一回此入
 費金四千九拾壹円貳拾三匁ナリ
 十月十七日取進寮ニ交付ス

兵種丸

噸數

千

馬力

貳百十

ノット

拾半

機関

螺旋

原價

英金三万三千貳百五十磅

原名ヨシノ一千八百七十四年英國ガントラ
 製造法全一ナリ全年工部省雇英人ヲラウ
 國ノ折蕃地ノ事漸ク切迫ナルヲ以テ兵隊送輸
 二月九日即チ支那和議ノ電報ヲ得ルノ明日在
 龍動本野盛了ヨリ新製汽船二隻ノ恰好ナク者

癸見シタルノ電報アリ時既ニ支那和議ノ後
ニ在リト雖モアラウンシノ尽力盡餅ニ属セシ
テ恐レ且ツ其後日ノ用ニ供スヘキヲ圖リ直ニ
正院ニ上奏シ該ニ隻ノ汽船購求着手スヘキ
ク電報セリ兵庫丸ハ即チ其一ニシテ其一ハ隅
田丸是ナリ
抑兵庫隅田丸ノ二船タルヤ初メ英商某支那貿
易ノ用ニ供センカ為リシドレラシト造船人
ハソシクハニ嗚レ新ニ製造セシノ兵庫丸ハ既ニ
ロントシニ於テ貨物ヲ裝載シ隅田丸ハ未タ造
船場ニ在ルノ際英商某已ムテ得サルノ事情ヲ
以テ之ヲ賣却セリ故ヲ以テ約ヲ定メ買主ハ右
猿載ノ貨物運賃ヲ收入シ然レ其貨物破損其他

ノ責ニ任シ得サルヲ以テ賣主ニ謀リ旧船長
エトケレ氏ヲ以テ貨物監長トナシ更ニモ一カ
氏ヲ選テ船長トシ航行ノ便益ト買主ハ尚英人
アラウンシノ名大ルトテ以テ英國旗ヲ翻ヘレ千
八百七十四年十二月七日ロントシテ發锚シタ
リ
既ニ英海峡ヲ經過シ漸ク大西洋ニ航行スルニ
當ル全月十日十一日十二日三日間ノ暴風ニ遭
遇レ乍時覆没ノ船舶十余隻アリレカレ該船ハ
多少ノ艱苦ヲ經テ漸クアリモ一ニ港ト入船
緊要ナル修繕ヲ加ヘ全月十八日全港ヲ發シ
エト溝渠ヲ過テアゲシ新嘉坡香港ヲ經過シ一
千八百七十五年即チ明治八年二月廿七日横濱

下 錨 セリ
 該 船 ノ 竜 動 ヲ 察 ス レ ヤ 海 上 保 険 ノ 約 条 ヲ ル ヲ
 以 テ 前 条 難 風 ニ 遭 遇 シ タ リ モ 卜 入 港
 レ ヤ 直 ニ コ ー ト 卜 檢 査 ヲ 受 テ 抗 辯 辱 天 災
 辨 ス 申 者 ヲ 誌 ノ 保 険 社 ニ 送 致 シ 尔 後 香 港 橫 濱
 諸 船 修 繕 ヲ 加 フ ル 毎 三 必 ス 右 ノ 手 数 ヲ 經
 彼 ノ 難 風 ヲ 生 シ タ ル 損 害 修 繕 三 相 遠 ナ キ
 旨 ヲ 辨 シ タ リ 然 レ ニ 右 修 繕 ノ 總 費 タ ル ヤ 保 險
 原 額 ノ 半 分 損 害 ヲ 生 シ 下 ナ レ 保 險 社 於
 之 ヲ 弁 償 ナ リ 若 満 タ サ ル ヲ 以 テ 若 右 修 繕
 為 蒙 リ タ ル 他 ノ 損 失 即 チ 空 シ ク 時 日 ヲ 費 シ
 タ ル 事 或 ハ 士 官 水 火 夫 ノ 給 料 ヲ 加 算 セ バ 三 分
 以 上 タ ル ヲ 以 テ 此 旨 ヲ 龍 動 司 事 會 社 偶 庫

取 扱 ヲ 命 照 會 シ 辨 償 ヲ 要 求 シ タ リ 然 如
 是 諸 經 費 損 害 ノ 為 生 シ タ ル 直 接 ノ 費 額
 ア ラ サ ル ヲ 以 テ 辨 償 ノ 理 ナ キ 旨 ヲ 報 告 セ リ
 一 英 貨 四 万 磅
 一 全 千 貳 百 拾 磅
 但 内 拾 磅 ハ 印 稅
 一 英 貨 九 百 五 拾 八 磅 〇 五 分
 内 三 百 三 拾 七 磅 拾 三 分 〇 五 分
 五 貳 百 〇 六 磅 三 分 〇 五 分
 全 四 百 拾 四 磅 三 分 〇 五 分
 該 船 ノ 所 有 權 者 英 人 ナ ラ ウ ン
 テ 未 タ 常 式 ノ 賣 渡 証 各 ナ キ ヲ 以 テ 橫 濱 下 錨 後
 非 常 ノ 困 難 ヲ 生 シ 恐 ニ 國 旗 變 換 ス ル ヲ 得

香港 橫濱
 保 險 社 額 定 價 金 三 分 〇 五 分
 船 保 險 額 定 價 金 三 分 〇 五 分
 四 萬 磅 三 分 〇 五 分
 該 船 損 害 修 繕 總 費 三 分 〇 五 分

之ヲ以テ空ク港内ニ在ルニ及シトニヶ月ニ及
タリ其間英一番商社ノ如キハ我困難ヲ幸トシ
國旗引換ノ保証人トナリ坐シテ該船原價ノ千
余五厘即チ四千百円余ノ口戈ヲ略取ルニ
企テ再三申請ニ及ト雖モ當時運賃格外低價ノ
折柄其運賃右口戈ヲ償ハサルハ必定ナレハ斷
然之ヲ拒絕セリ其後該船長ヨリルカシ氏ニ謀
リ全氏ハ州ヲウシレノ名代人タルヲ以テ英國旗
ノ僞ニ運航ノ得ヘキノ權ヲ許認セシメ四月
十四日ヲ以テ初テ函館ニ航セリ尔後英國船ニ
シテ未開ノ諸港ニ運航スルヲ以テ許タノ終議
困難ヲ醸成シ殆ト運航中止ノ際五月五日カ
ノウシ帰着賣渡証各ヲ領收シ從テ全八日初テ

英國旗ヲ撤シ日章旗ヲ翻ヘシ更ニ兵庫凡ト改
稱セリ
該船龍動ヨリ日本ニ至ルノ船賃運賃四千四百
六拾四磅二シルリンニシテ全經費九千八百
五拾八磅拾七シルリンニシテ四ニシテナリ尤内九
百五拾八磅五シルリンハ破損ノ為ニ生シタリ修
繕費ニ係レリ
汽船掛所轄中函館ニ航スル一三回函館ヲ經過
シテ新瀉ニ航スル一ニ回寒風沃青森ヲ經過シ
テ函館ニ航スル一ニ回函館ヲ經過シテ小樽内
ニ航スル一ニ回小名濱ニ航スル一ニ回官米輸
漕ノ高尙万零七百零六石六斗七合郵便物運搬
ノ數拾八箇ト六貫五百目高嶺ヲ裝載スル一拾

五万五千五百七拾九、個乗客、數六百拾四人、運賃
 收入、高金貳万五千八百五拾八円六拾三匁三
 厘、洋銀貳千六百八拾八弗七拾七匁、官物見
 積運賃、高金三万貳千零七円七拾七匁、運航
 經費、高金貳万五千貳百四拾七円九拾匁六厘
 修繕ヲ加ル、一拾一度此經費金八千貳百円零貳
 拾匁、貳厘、洋銀七百八拾七弗五拾七匁、
 八年十月三十日、馭遊寮ニ交付ス

隅田丸

噸數

千

馬力

貳百拾

ノット

拾半

機関

螺旋

原價

英金三万二千貳百五拾磅

兵庫丸ノ全形汽船ニシテ一千八百七十四年英
 國カシトルラント、カムソシ、氏ノ製造ニ係リ、既
 ニ落成スルニ及ビ、上野公使之ヲ名テ、カシトル
 ム、カシトル、カシトル、カシトル、カシトル、カシトル、
 掲メ、明治八年二月廿七日、龍動ヲ發シ、全年、
 月五日、横濱ニ着ス、更ニ名テ、隅田丸トシ、
 兵庫隅田二号ノ原價、英金六万六千五百磅之ヲ

三分ノ第一期原價半高即チ三万三千貳百五拾
 磅。明治七年十一月廿五日第二期一方六千六
 百廿五磅。全八年二月廿日華三期一万六千六
 百廿五磅。全四月廿九日總テ東洋銀行ニ經テ
 送致セリ。
 兵庫隅田總經費司ラソシ社ニ於テ取替拵出シ
 ノル英金壹万三千三百八拾四磅拾八シルヲシ
 八日正明治八年十二月十四日佛國銀行ノ
 為替券ヲ以テ送致セリ。
 但本文經費金高ノ外隅田丸運賃總高是
 兵庫丸運賃ノ内貳千七百磅余流用シテ經
 費ニ供セリ。
 該船龍動ヨリ日本ニ至ルヤ船賃運賃三千三百

八拾八磅壹切レリシゴ四ノシス内六百八拾
 九ノ官内ニ部其他ノ官ヲ收入シ八千
 用物ナルヲ以テ運賃取入セス官ヲ要セリ
 七百七十九磅三シルリシノ經費ヲ要セリ
 汽船掛所轄中神戸ヲ經過シテ大坂ニ航スル
 八回輸漕スル所ノ船賃八万八千四百貳拾六個
 乗客七百三拾七人收ハスル所ノ運賃金壹万九千
 三百四拾五円九拾六匁六厘運航經費金壹万七
 千七百七拾九円八拾三匁七厘修繕ヲ加ルハ
 度此經費金七千零五拾九円七拾三匁五厘
 八年十月十二日馭遊寮ニ交付ス

Handwritten text in a red-lined grid on the right page of an open book. The text is arranged in approximately 12 vertical columns. The characters are small and densely packed. On the far right edge of the grid, there are three vertical characters in red ink: '大', '藏', and '卷'. The paper shows signs of age, including foxing and some staining.

